

りっとう議会だより



No.215

2025.8.1 発行

大きな栗の木の下で



栗東市役所

特集	議会広報編集 特別委員会委員を紹介…	P 2
議案	6月定例会 ……………	P 3
委員会	各常任委員会ピックアップ ……………	P 5
個人質問	ここが聴きたい 市政を問う ……………	P 7
あいさつ	新議長・副議長 就任あいさつ ……………	P 12

新たな体制で
スタート!



議会広報編集 特別委員会委員を紹介

～委員に栗東市議会への思いを聞きました～



委員長

寺田 靖広

柔軟な思考で、しがらみなき改革を。

議会広報編集特別委員会3年目となりました。自分自身は柔軟な思考をしていると考えています。前委員長からの引継ぎ事項に配慮しつつ、領域なき改革を断行していく所存でございます。



西田 聡

まちの今を届ける、つなぐ、動かす。

議会と市民をつなぐ市議会だよりは年4回発行しています。栗東（まち）の動きを知っていただくため、そして、市民の皆さんにとって身近で親しみのある議会をめざして「若さと行動力」で議会活動を発信していきます。



塩見 隆

もっと伝わる議会だよりへ。

このたび新しく議会広報編集特別委員会のメンバーとなりました。一人でも多くの市民の皆さまに親しみや関心を持って読んでいただける紙面づくりに努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



副委員長

奥村 明

伝えることで、つながるまちへ。

市民の皆さま、こんにちは！「もっと元気なまち（栗東）にしたい」を合言葉に、前向きな気持ちで、ひたむきに取組んでいます。市民の「知りたい」に応えられる広報で、議会をもっと身近に感じてもらい、難しいこともわかりやすく、楽しく。そんな広報誌をつくっていただけたらと考えております！



伊吹 裕

伝える責任、届ける使命。

この度、栗東市議会広報編集特別委員会の委員として、再び頑張る事となりました。栗東市議会での議論や成果をよりわかりやすく伝えることができるよう頑張る決意です。よろしくお願いいたします。



谷口 律香

もっと気軽に、もっと身近に！

「議会ってお堅い？」そんなイメージをくつがえしたい！思わず読んじゃう“議会だより”目指して全力編集、頑張ります！

	件 名	採択結果
人事	栗東市監査委員の選任につき議会の同意を求めることについて (梶原美保氏)	同意・全
専決 (一部改正)	税条例 (地方税法等の改正に伴う改正)	承認・全
	国民健康保険税条例 (地方税法等の改正に伴う改正)	承認・全
条例 (一部改正)	栗東市職員の育児休業等に関する条例及び栗東市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例 (部分休業制度の拡大等、人事院規則改正に伴う改正)	可決・全
	税条例 (地方税法等の改正に伴う改正)	可決・全
	栗東市手数料徴収条例の一部を改正する条例 (オンライン申請に伴い、オンライン決済を行えるよう手数料徴収時期の規定の改正)	可決・全
	栗東市印鑑条例の一部を改正する条例 (印鑑証明のオンライン申請の受付及びマイナンバーカードを用いた交付申請受付の実施のための改正)	可決・全

	件 名	採択結果
その他	損害賠償の額を定めることにつき議会の議決を求めることについて (消火栓蓋による物損事故における損害賠償)	可決・全
	栗東市道路線の認定について (岡区内9号線)	可決・全
請願書	日本政府に核兵器禁止条約の参加・調印・批准を求める請願	不採択・別表
意見書	物価高騰による医療、介護の経営危機・提供基盤の崩壊を食い止め、ケア労働者の賃上げを図る緊急措置を求める意見書	否決・別表
	所得税法第56条の改正を求める意見書	否決・別表
	刑事訴訟法の再審規定の改正に向けた議論を求める意見書	可決・全

令和6年度 一般会計 補正予算（専決）				
会計名	補正額	予算総額	主な内容	採択結果
一般会計（第10号）	3億6,894万8千円（増額）	301億7,638万3千円	総務費等の増額	承認・全

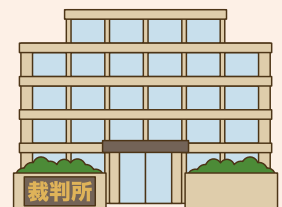
令和 7 年度 一般会計・特別会計 補正予算					
会計名	補正額		予算総額	主な内容	採決結果
一般会計（第 2 号）	6,140 万円（減額）		306 億 2,638 万円	民生費の減額等	可決・全
一般会計（第 3 号）	364 万 5 千円（増額）		306 億 3,002 万 5 千円	農林水産費等の増額	可決・全
水道事業会計（第 1 号）	収入	57 万 3 千円（増額）	14 億 8,209 万 6 千円	営業外収益の増額	可決・全
	支出	57 万 3 千円（増額）	13 億 9,029 万 2 千円	営業外費用の増額	

刑事訴訟法の再審規定の改正に向けた議論を求める意見書

<意見書概要>

えん罪は重大な人権侵害であり、その防止と被害者の救済は国の責務です。現行の再審制度は、手続の不明確さや証拠開示の不備、検察官による不服申立てによる再審の遅延など、多くの課題を抱えています。これらの問題により、えん罪被害者の救済に時間と労力を要する状況が続いています。

よって、国会および政府に対し、えん罪被害者を迅速に救済するため、刑事訴訟法の再審規定の改正に向けた議論を慎重かつ速やかに行うよう強く求める意見書を提出しました。



賛否の公表

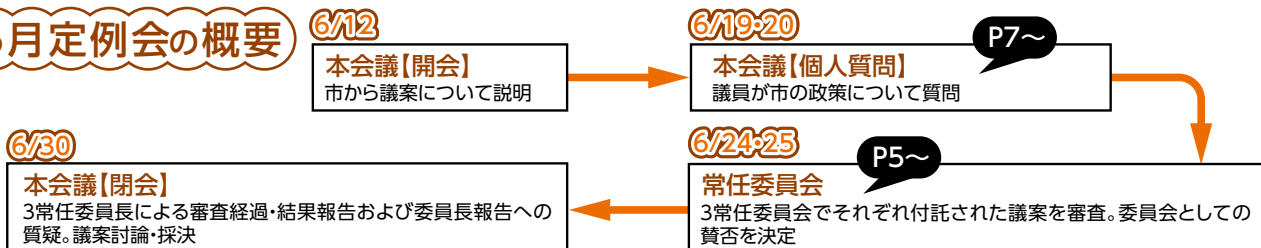
賛成・反対の双方があった議案について表示します。(多 = 賛成多数、少 = 賛成少数) ○…賛成、●…反対

案件	会派名 議員名	賛成 の数	新公会							ネットワーク			公明		共産		究理		未来
			上田 忠博	三木 敏嗣	中野 光一	梶原 美保	西田 聡	寺田 靖広	奥村 明	田村 隆光	上石田 昌子	谷口 律香	川嶋 恵	塩見 隆	青木 千尋	伊吹 裕	武村 賞	櫻井 浩司	島田 利恵
請願書	日本政府に核兵器禁止条約の参加・調印・批准を求める請願	少	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○
意見書	物価高騰による医療、介護の経営危機・提供基盤の崩壊を食い止め、ケア労働者の賃上げを図る緊急措置を求める意見書	少	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	●	●	○	○	●	●	○
	所得税法第56条の改正を求める意見書	少	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	●	●	●

※議長（里内 英幸）は採決に加わらない

※会派名の正式名称は次の通り ネットワーク（栗東市民ネットワーク）、公明（公明栗東）、共産党（日本共産党栗東市議団）、究理（究理の会）、未来（未来創造りっとう）

6月定例会の概要



常任委員会等委員構成(令和7年6月~)

議会運営委員会	総務常任委員会	環境建設常任委員会	文教福祉常任委員会	予算常任委員会	
委員長 中野 光一 副委員長 上石田昌子 委員 上田 忠博 櫻井 浩司 伊吹 裕 塩見 隆 奥村 明	委員長 三木 敏嗣 副委員長 上石田昌子 委員 西田 聡 島田 利恵 奥村 明	委員長 武村 賞 副委員長 寺田 靖広 委員 田村 隆光 川嶋 恵 梶原 美保 伊吹 裕	委員長 上田 忠博 副委員長 谷口 律香 委員 櫻井 浩司 中野 光一 青木 千尋 塩見 隆	委員長 上石田昌子 副委員長 西田 聡 委員 田村 隆光 上田 忠博 武村 賞 櫻井 浩司 三木 敏嗣 中野 光一 青木 千尋	委員 川嶋 恵 梶原 美保 伊吹 裕 塩見 隆 寺田 靖広 島田 利恵 奥村 明 谷口 律香
議会改革特別委員会		環境センター整備特別委員会	議会広報編集特別委員会	決算特別委員会	
委員長 上田 忠博 副委員長 奥村 明 委員 田村 隆光 武村 賞 櫻井 浩司 三木 敏嗣 中野 光一 上石田昌子 青木 千尋	委員 川嶋 恵 梶原 美保 西田 聡 伊吹 裕 塩見 隆 寺田 靖広 島田 利恵 谷口 律香	委員長 武村 賞 副委員長 伊吹 裕 委員 田村 隆光 西田 聡 塩見 隆 寺田 靖広 島田 利恵	委員長 寺田 靖広 副委員長 奥村 明 委員 西田 聡 伊吹 裕 塩見 隆 谷口 律香	委員長 谷口 律香 副委員長 塩見 隆 委員 田村 隆光 上田 忠博 武村 賞 櫻井 浩司 三木 敏嗣 中野 光一 上石田昌子	委員 青木 千尋 川嶋 恵 西田 聡 伊吹 裕 寺田 靖広 島田 利恵 奥村 明



※委員長報告を映像で
ご覧いただくことができます

常任委員会ピックアップ

～6月定例会での審査内容の一部概要をお伝えします～

予算常任委員会

所属委員 (◎委員長 ○副委員長) ◎上石田 昌子、○西田 聡 ※議長(里内 英幸)を除く全員

問 不利な条件の中で、本市としてどのような対応を行っているのか。

め、不利である。
直しが図られている。本市は都市部よりになるため、不利である。

答

これまで人口の多い都市部のところが、山林の多い地域に比べて優位になっていたこともあり、今回見直しにより、本市は有利、不利のどちらになるのか。

問

マイナス補正「239万9千円」は私有林人工林の面積など、譲与基準の見直しによるものとの説明であったが、今回の基準見直しにより、本市は有利、不利のどちらになるのか。

国の譲与税の配分基準の見直しにおいて私有林人工林面積が大きい自治体は増額しましたが、配分基準の「人口」比重の削減により、人口の多い都市部や人口の多い都市部の自治体では配分額が減りました。

◆森林環境譲与税基金積立金が基準の見直しで減額？(林業総務費)

「令和6年度栗東市一般会計補正予算(第10号)」専決処分事項の審議より

答

これまで実施している放置林防止のための境界明確化事業や、森林所有者の意向調査を行ってきた。

引き続き境界明確化事業等に取り組む。また、やまのこ事業の人員費として森林環境譲与税基金積立金から出ている部分もあることから、山のすばらしさを伝えていくような学習の実施も含めて、森林に対する理解度を深めるような事業を進めていきたいと考えている。

森林環境譲与税は2019年度から開始され2024年度からは「森林環境税」としてすべての住民から年額1千円が徴収され、その全額が「森林環境譲与税」として市町村・都道府県に配分されています。



▲栗東市観音寺

総務常任委員会

所属委員 (◎委員長 ○副委員長) ◎三木 敏嗣、○上石田 昌子、西田 聡、島田 理恵、奥村 明

栗東市税条例の一部を改正

令和7年度税制改正により特定親族※特別控除が新たに創設されたことに伴い、控除すべき金額について、特定親族特別控除額を追加施行日
令和8年1月1日

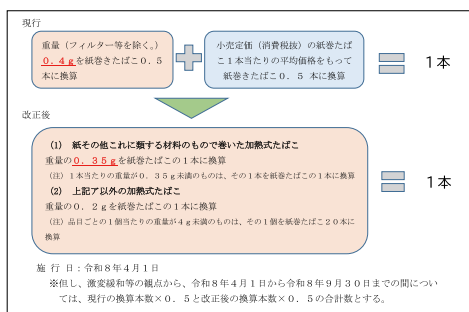
問 所得控除は、どのくらいの方に影響が出るのか。
答 影響人数は、おおよそ200人を見込んでいます。影響額は、約500万円の減収と想定しています。

特定親族の合計所得金額	控除額
58万円超 95万円以下	45万円
95万円超 100万円以下	41万円
100万円超 105万円以下	31万円
105万円超 110万円以下	21万円
110万円超 115万円以下	11万円
115万円超 120万円以下	6万円
120万円超 123万円以下	3万円

▲特定親族の合計所得金額の控除額

※ 特定親族…居住者と生計を一にする19歳以上23歳未満の親族で合計所得金額が58万円を超えて123万円以下の人

問 たばこ税の影響額は、
答 たばこの売り上げ本数の動向自体が、改正により不明であるが、令和5年度決算額ベースで今回の改正を行った場合の試算として、約4900万円の増収になる見込みを立てている。



▲加熱式たばこに係る市たばこ税の課税標準の特例

現在、重量と価格によって紙巻きたばこの本数に換算している課税方式について、重量のみで換算する方式に見直すほか、一定の重量以下のものは1本をもって紙巻きたばこ1本に換算する仕組みとする。

「常任委員会」とは

市政は範囲が広く内容も複雑なため、市議会では、委員会を設けて本会議の予備的な審査や重要な事柄の調査をしています。

現在、4つの委員会に分かれ、議案などを審査しています。

※文教福祉常任委員会は付託された議案がなかったため、今号での掲載はありません。

環境建設常任委員会

所属委員 (◎委員長 ○副委員長) ◎武村 貴、○寺田 靖広、田村 隆光、川嶋 恵、梶原 美保、伊吹 裕

住宅開発に伴う市道の認定 「緊急車両の出入り」は？」

問 岡区内9号線について、緊急車両などが出入りをする際に、転回できる道幅が確保できているのか。

答 西側の既存道路は、幅員が4mであるが、南側の既存道路とループする形で、開発区域内に幅員6mの道路が整備されていることから、緊急車両の出入りに支障はない。

◆市道内における消化栓蓋の管理不足に伴う損害賠償の額を定める審査

被害概要

消化栓蓋が浮いていた箇所を被害者が運転する軽自動車が通過した際に踏み、蓋が跳ね上がり車の底部が損傷した。

損害賠償額

57万2800円
過失割合は、市100%

◆市民生活に影響する国道、県道、市道の開通



▲供用開始路線（予定）一覧

- 国道1号栗東水口道路I（延長0.9km）及び主要地方道大津能登川長浜線（延長2km）通称「国道1号バイパス」が令和7年8月23日に開通予定である。
- 国坊袋岡線延長200mが令和7年7月1日に開通
- 大門野尻線、2・2工区、3工区（延長500m）が令和7年9月1日に開通予定である。
- 国道8号野洲栗東バイパスの一部（延長1.9km）県道守山栗東線から栗東第二インターまでが、令和8年度開通予定である。

会議は傍聴ができます

定例会や委員会では、私たちの生活に関わる大切なことが審議されています。傍聴をご希望の方は、定例会などの会議開催日に市役所4階 議会事務局までお越しください。

STEP 01

市役所4階で受付を行う
名前・住所などを記入します



STEP 02

傍聴者入口から入る



STEP 03

傍聴席に座り傍聴する



傍聴にお越しください

本会議・委員会審査は、どなたでも自由に傍聴いただけます。

- ・開会時間は、いずれも9時30分を予定しています。
- ・日程については、現段階での予定であるため、変更になる場合がありますのでご了承ください。
- ・議場には車椅子を利用されている方の傍聴者席を設置しています。
- ・手話通訳者の配置をご希望の方は事前に議会事務局へ連絡をお願いします。

●問い合わせ 議会事務局(市役所4階)
TEL:551-0137 FAX:551-0146 ✉:gikai@city.ritto.lg.jp

9月定例会の予定 (土・日・祝は除く)

8月29日	本会議（議案上程等）
9月8日～10日	本会議（個人質問）
11日～16日	各常任委員会
16日～22日	決算特別委員会
26日	本会議（委員長報告・採決）

議会の様子は、開催後速やかにYouTubeにアップしており、動画でもご覧いただけます。▶



個人質問

ここが聴きたい 市政を問う

～6月定例会での個人質問と答弁の要旨をお伝えします～

ページ	質問者	質問事項
7	上石田 昌子	1 「いい香り」 がつらい人もいる ―香害からの支援と共生へー 《化学物質過敏症への理解と配慮を！》 2 家族の限界の前に、地域の支えを 《重症心身障がい者通所施設の整備について》
8	谷口 律香	1 育児のはじまりを地域で支える ―親子の社会参加促進と“赤ちゃんの駅”整備を―
8	島田 利恵	1 「未来へつなぐ栗東健康運動公園 ―市民協働と若者参画による持続可能な都市政策の推進」
8	寺田 靖広	1 開庁時間を見直してはどうか 2 地方出入国在留管理庁へ通知をしているのか
9	塩見 隆	1 災害対応におけるドローンの活用状況について 2 くりちゃんバス乗降者数カウントシステムの活用状況と今後の公共交通の展開について 3 財政負担ゼロでできる「手ぶら登園」制度の導入について
9	櫻井 浩司	1 栗東健康運動公園について
9	三木 敏嗣	1 市街化調整区域におけるまちづくりについて
10	伊吹 裕	1 栗東市男女共同参画プラン第7版の策定について 2 戦後80年を迎えるにあたっての平和推進への積極的な取り組みを 3 認知症基本法の制定を受けての条例の制定について
10	青木 千尋	1 栗東市におけるリチウム蓄電池等の適正処理の実施について 2 通学路の安全と地域の交通安全確保を求めて
10	奥村 明	こどもまんなか社会の実現に向けて 1 校内教育支援センター支援員の更なる拡充に向けて 2 学校給食のオーガニック化へむけて
11	田村 隆光	1 不登校生徒への義務教育課程終了後の支援体制の継続・強化について
11	西田 聡	1 少子化でも人口の増え続ける魅力的な栗東（まち）づくり
11	上田 忠博	1 「まちづくり基本構想（後継プラン）」について

問 … 議員の質問 答 … 市からの回答 意 … 議員の意見

個人質問とは？

皆さんの生活に関わる大切な事柄について、議員が提言も含めて市に考えを聞きます。

議会動画 配信中！

各議員の記事に掲載の二次元コードを読み込んで、その議員の個人質問の全体映像をYouTubeでご覧いただけます。



栗東市議会
YouTube

分野別アイコン 各記事に記載

気になる分野をチェック！

くらし	
子育て・教育	
健康・福祉	
安全・安心	
まちづくり	
その他	

「いい香り」 がつらい人もいる



上石田 昌子 議員



問

化学物質過敏症は誰にでも発症の可能性がある生活環境病でその患者数は全国で1千万人にのぼり、有病率も13人に1人とされている。現時点で本市では香害での不登校事例は確認されていないとのことだが教職員の認識不足や児童生徒や保護者からの訴えの困難さにより表面化しづらい。相談体制や実態把握の手法について問う。

答

改めて各校に周知を図る。

問

災害時の避難所は香料にさらされるリスクの高い環境。無香料備蓄品の確保や、発災時の受付対応、ゾーニング運用訓練などを取り入れる考えはあるのかを問う。

答

職員研修に取り入れるとともに、避難所開設・初期運営マニュアルに追加し、化学物質過敏症の方の対応についても訓練に入れる。

問

においに敏感になる妊娠期、呼吸器や皮膚が未発達な乳幼児期における香料製品の影響については専門的な知見と相談体制の整備が求められる。母子健康手帳交付時の保健指導において相談先が明記された簡潔なリーフレット配布を検討されたいが、いかがか。

答

母子健康手帳交付時の面談で配布できるよう用意する。



化学物質過敏症啓発ポスター
(厚生労働省他)



子育て世代が安心して出かけられるまちへ

谷口 律香 議員



▲甲賀市の移動式「赤ちゃんの駅」



▲草津市の赤ちゃんの駅のロゴマーク

- 問** 「子連れOK」を当たり前に 子ども家庭局以外の部局での託児付き講座や、子連れ歓迎のイベント実施状況は把握しているか。
- 答** 市全体では把握できていない。
- 問** 子連れでも安心して参加できるような環境整備や、参加を歓迎する雰囲気作りがもっと必要である。イベント拡充の方針は。
- 答** 各所属に対し、子育て世帯への配慮と関連する情報発信の必要性などについて周知し、イベントの拡大・拡充に努める。
- 問** 設備の充実と「見える化」を 本市におけるおむつ替え台や授乳室の整備状況の評価と課題は。
- 答** 子育て世代の利用頻度が高い施設においては一定の整備がされていると評価している。未整備の施設に関しては費用対効果や構造上の問題などがある。
- 意** 整備状況をホームページやアプリでの公表に取り組むとのことだが、子育て当事者だけでなく、誰もが目にする形で可視化することが重要。ステッカー等での掲示も検討していただきたい。
- 問** 防災備蓄の一環としても「移動式赤ちゃんの駅」を整備していただきたい。いかがか。
- 答** 他市事例を参考にしながら検討していく。



市民と若者と育てる未来の公園 -栗東健康運動公園って、どんな計画？-

島田 利恵 議員



▲栗東健康運動公園計画の詳細はこちら



▲市民参画のタイミング
(市広報7月号データを使用)

- 問** 健康運動公園が「事業者優先」に見える。市民参画の現状と課題は。
- 答** 有識者や市民の代表者に意見を伺ってきたが、具体的な議論に至っていないことが課題。詳細設計時には様々な世代と意見交換を検討。
- 問** JRAが146億円も支援する背景は。
- 答** 競馬法改正を受け、引退馬の福祉向上がJRAの使命に。馬関連産業が広がっている本市に協力する意義があるとの見解。
- 問** 遊具整備など、公共の援護射撃が必要だと思ふが。
- 答** トレンドや、市民・事業者の意向を踏まえながら検討する。
- 問** 事業者の利益確保と市民サービスを前提とした持続可能な運営は。
- 答** 公益事業と収益事業のバランスを考慮し、事業者選定することで持続可能な運営を目指す。
- 問** 公園整備に市民や若者の声は届いているか。
- 答** 開園にあわせ、公園に関心のある方を募る。公募事業者に対し市民との連携を義務づけるなど、様々な意見を取り入れ、日々進化する公園を目指す。
- 問** 市長の考えは。
- 答** 市民との関わりは大変重要。市民が自分達の公園だと自分事になるよう、これまで以上に市民と共に広く具体的な議論を進めたい。
- 意** 公園は作って終わりではなく、作る過程で育まれる一体感が誇りと愛着に繋がり持続可能になる。皆で育てていく公園を願う。



開庁時間の見直し

寺田 靖広 議員



- 市職員の働きやすさから、開庁時間を短縮する時期に来ている。守山市役所では5月12日、草津市は7月1日から午前9時〜午後4時45分に開庁時間を変更している。
- 問** 栗東市職員の勤務時間は、月曜日から金曜日、午前8時30分から午後5時15分（現在の開庁時間と同じ）まで。始業前の準備や、閉庁後の片付けなどによる職員の時間外勤務を前提としたものか。
- 答** 窓口業務等の行政サービスの提供に向けた準備や閉庁後の片付けなどによる業務が一定程度発生している。と認識している。
- 問** 現在、開庁時間の変更を具体的に検討しているか。
- 答** 変更に向けた検討を行っている。
- 問** 近隣他市が開庁時間の変更実施をしている中、未だ実施に至っていない理由は。
- 答** 現在、他自治体の動向等を参考に、あらゆる視点から内部で検討を重ねている。また、施設構造上の問題点等もあることから、実施に向けた調整に時間を要している。
- 問** いつ頃の開庁時間変更をお考えか。
- 答** 市民サービスに影響を及ぼす取り組みでもあることから、円滑な移行に万全を期すための全庁的な協力体制を構築し、本年度の下半期に目途をつけたい。

玄関の開扉時間

(開庁日) 8時00分 から 18時00分
(開庁日) 8時30分 から 17時15分

※ 玄関の開扉時間以外で市役所に用のある方は、庁舎裏側昇降口までお回りください。



財政課 管財係

▲市役所入り口の掲示



手ぶら登園制度導入の再提案



塩見 隆 議員



問 保護者が定額サービスを契約すること、紙オムツやおしりふきが保育施設に直接配送される「手ぶら登園」制度が普及しており、すでに複数の自治体で導入されている。本市として導入の可能性をどのように捉えるか。

答 費用負担をする保護者の理解、全園児が当制度を利用するなど条件を整えば、導入の可能性はある。

意 9月議会、想定される課題や導入に向けての柔軟な対応など更に具体的な提案をさせて頂く。

▼使い捨ての持ち物にも名前書きが必要



1枚あたり5秒だとしても、1年で2時間も費やしていることになります。それに加えて、書きづらさへのストレス、おむつ忘れをしないように心配りするストレスもあります。
(BABY JOBセミナー資料より転載)

問 くりちゃんバスや市内公共交通のあり方

答 くりちゃんバスと民間バスを含めた全体の最適な運行体制や役割分担について、限られた財源の中であっても、市民にとって必要不可欠な移動手段を持続可能な形でどのように再構築していくのか。

答 市民ニーズの把握・分析を行い、あらゆる交通手段の抽出を行い、令和9年度には新たな運用の開始を目指したい。

問 災害対応におけるドローンの活用状況

答 費用対効果、データ更新や維持管理体制の見直し、整理状況は。継続的な測量が必要で費用対効果を含め災害対応に関しての有益性を今後も調査研究していく。



栗東健康運動公園の進捗状況



櫻井 浩司 議員



問 馬の施設について、乗馬クラブがありきでないなら30馬房は必要なのでは。

答 馬業者に必須事項として求めているのは、ふれあい等の公益事業である。収益事業として乗馬クラブを含め広く事業者の提案を受けるには、30馬房程度が必要という意見があった。

問 馬30頭飼育するには、飼料代・人件費等かなりの支出が見込まれるが、それらをペイしたうえで収益を見込める事業について市の考えは。

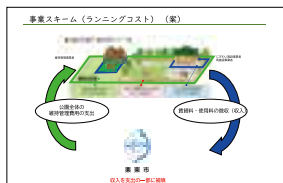
答 公募事業者に民間のノウハウ・アイデアを活かし収益性のある事業提案してもらう。公募選定委員会において事業の持続可能性などを確認していく。

問 維持管理費について、土地・建物の使用料で不足が生じた分については市費にて補填となる見込みと説明を受けたが、指定管理料・修繕費はどの程度を見込んでいるのか。

答 市の負担については、特定公園施設として事業者側の負担で管理していただく範囲等によるが、年間約20万円から1900万円を想定している。修繕費については建物等の形態等も決まっていないため現時点では試算はできていない。

問 今後、事業者との協議の中で、市の負担が少しでも軽減できるビジョンは。

答 民間活力の効果を最大限に生かせるよう公募設置等指針を策定する中で市及び市民にとって最良の事業者を選定していきたい。



▲公園全体の整備・運営体制のイメージ図
(栗東市HPより抜粋)



市街化調整区域におけるまちづくり



三木 敏嗣 議員



問 市街化調整区域の人口減少や過疎化について市の認識は。

答 自然環境や集落景観の維持・保全を原則とし、地域の実情に合わせ地域活力が維持できるよう居住環境の維持、形成を図り、持続可能な社会の構築が必要である。

問 市街化調整区域の空き家増加についての認識と課題は。

答 令和4年度の空き家等現況調査では、市全体の空き家数403戸のうち、107戸が市街化調整区域となっている。令和元々4年度にかけて市街化調整区域では約39%増加し、市街化区域に比べ大幅に増えている状況。空き家になる前から管理・処分や相続等について検討を促し、将来に生じる問題を理解していただくことが課題である。

問 兵庫県加西市では特定用途制限地域の導入が地域活性化に寄与しているが、当市でも類似の制度導入の考えは。

答 導入の考えはない。

問 地区計画制度をより柔軟に運用し、土地所有者の意向を反映しやすくするための改善策は。

答 本市への定住促進を図るため、令和6年度に地区計画の基準を一部緩和するなど、実情に応じた地区計画制度の運用に努めている。県や近隣市の基準等参考に適切な運用に努める。

市街化調整区域面積	市街化調整区域人口	市街化調整区域人口密度
1,234.56ヘクタール	12,345人	100人/ヘクタール
2,345.67ヘクタール	23,456人	100人/ヘクタール
3,456.78ヘクタール	34,567人	100人/ヘクタール
4,567.89ヘクタール	45,678人	100人/ヘクタール
5,678.90ヘクタール	56,789人	100人/ヘクタール

▲市街化調整区域面積
(第四次都市計画マスタープランより抜粋)



男女共同参画プラン第7版の策定 ～男女平等社会の推進のために～



伊吹 裕 議員



問 ジェンダーに基づく暴力やミソジニー(女性嫌悪)に対する対策は。

答 ジェンダー平等についての啓発や教育、またDVなどの暴力による被害者のための相談窓口や支援体制の充実など多角的な対策が必要と考える。

問 公共施設の生理用品の配備の現状は。

答 現在は、市役所1階女子トイレ等に生理用品配布カードを設置し、社会福祉課などの窓口にカードを提示していただきお渡ししている。必要とされている方にいきわたるよう、今後もより良い方策を検討していく。

問 平和推進の取り組みを

答 栗東市平和都市宣言の掲げる理念と目標は。

問 人類の恒久平和を実現するため、わが国の基本方針である非核3原則を堅持し、核兵器廃絶を目指し、核戦争防止を強く訴えることにある。

答 平和都市宣言に基づき、市として国に対し「核兵器禁止条約」への署名・批准を求めるべき。

問 国において考えるべきことであり、市として国に求めることはない。



問 認知症基本法の制定を受けての条例の制定について

答 認知症基本法に基づく条例制定の考えは。

問 計画を策定することにより認知症施策を推進する。



通学路の安全と地域の交通安全のために



青木 千尋 議員



問 本年4月7日、市道「安養寺下戸山線」が開通した。下校時の自転車通学の中学生や一般市民は東側トンネルが通行可能である。トンネルを出た後、右折して横断歩道側に渡る時に車と自転車・歩行者が交差することが想定される。危険の回避についてトンネル手前の横断歩道に沿って青色のベルトを設置し、西側トンネルに誘導するようにしたらどうか。

答 自転車の誘導については、トンネル手前の横断歩道付近にて誘導する青色ベルトを設置する予定である。

問 東側トンネルの出たところ、道路向かいの柵がないところがある。このことにより「道路を横断しても良い」と理解される危険がある。柵の切れた部分をなくせないか。

答 「柵の切れた部分」については、沿線土地所有者の乗り入れ部。また両側歩道による横断箇所によるもので塞ぐことはできない。

問 一歩踏み込んだ対応として、東側トンネルは歩行者、自転車は通行禁止にして、車両のみの専用道路にしたかどうか。そうすれば車と歩行者、自転車の交差する危険がなくなり住民の皆さんのこれまでの利便性、安全性も確保できるが考えは。

答 利便性も含め、公安委員会と協議してきたことから通行禁止にはできないと考えている。



▲安養寺下戸山線



こどもまんなか社会の実現に向けて ～学校給食のオーガニック化へむけて～



奥村 明 議員



問 現在の学校給食への有機食材使用率は。

答 学校給食では有機食材を使用していない。

問 学校給食のオーガニック化に向けて障壁になっていることは。

答 大量調理に適した大きな形に整っていること、大量供給が可能なこと等の適性に見合わないこと。

問 お味噌や調味料をオーガニック化することはできないのか

答 野菜や他の食材等の使用については、大量調理に適した食材で、指定期日に確実に納品され、また、給食費の値上げにつながらない価格であれば使用は可能。

問 オーガニックビレッジ宣言を行うことで、学校給食のオーガニック化へ向けた助成が受けやすくなり、本市はもろんのこと保護者の負担減にもつながると考えられるが見解は。

答 オーガニックビレッジ宣言については、学校給食にどのような恩恵をもたらすか検討する。

問 市長の見解は。

答 大切な事は、私たちの大切な子どもたちに安心・安全な食材を継続的に提供していくことだと考えている。

問 校内教育支援センター(サポートルーム)支援員の拡充へむけて

答 4月より配置できなかった学校の支援員増員をあと4名(4校)の配置を望むが。

問 校内教育支援センターを閉じる状況で、利用児童生徒が早退・欠席している。今後も各校の不登校児童生徒の状況に応じて、支援員の増員ができる仕組みを検討する。





不登校生徒への義務教育課程終了後の 支援体制の継続・強化を

田村 隆光 議員



問

不登校などにより、十分な義務教育課程を修了しないまま中学校を卒業した生徒（形式卒業生）の実態把握と卒業後の進路指導や支援が制度の狭間に置かれている。支援の体制と課題は、

答

形式卒業生者に特化した支援はしていない。しかし、昨年度、市内の3中学校で不登校状態にあり卒業式に参加できなかった生徒は12名であり、特別卒業式や保護者を通じて全員が卒業証書を授与された。また、中学校卒業時に不登校状態であった生徒で進路が未定であった3名には、市スクールソーシャルワーカーと連携し、市の福祉サービスに繋ぐサポートをしている。課題は、社会参画に課題を抱える若者の支援に向けた横断的な連携が十分でないことである。

問

本市の「子ども・子育て支援事業計画」では、形式卒業生や高校中退などの年齢層への対応の記載がない。市の考えを問う。

答

本年度から2力年かけて策定する「市町村子ども計画」の中で新たな視点として子どもの貧困やこれら対象となる年齢層のニーズも把握する中で、適切な支援が実施できるよう検討を進めていく。



少子化でも人口の増え続ける魅力的な栗東(まち)づくり

西田 聡 議員



問

全国各地から本市への移住・定住相談はあるか。また、そのような相談はどこが窓口となるのか。

答

昨年度の問い合わせは2件であり、移住・定住に関する相談は、政策推進部企画政策課にて対応している。

問

その問い合わせ2件の具体的な内容は、

答

1件は市外の子育て世帯からで、利便性の高い本市に魅力を感じたというものであった。もう1件は県外の方で、雪や災害の少ない滋賀県南部に魅力を感じ、移住を検討しているという相談であった。

問

直近3年間の市内出生数はどのくらいか。また、同じく3年間の人口の自然動態と社会動態は、

答

市内出生数は、令和4年740人、5年は760人、6年は686人である。人口の自然動態は令和4年197人増、5年は228人増、6年は197人増で、社会動態については、令和4年20人減、5年は370人減、6年は286人減となっている。

意

地方創生が叫ばれて久しいが、栗東(まち)が活気や魅力に満ちあふれ、誰もが安心して生活できる住みよい栗東(まち)につながっていくことを願う。



まちづくり基本構想「後継プラン」の成果・検証

上田 忠博 議員



本市では新幹線新駅(仮称「南びわ湖駅」)建設中止に伴い都市開発計画の見直しを迫られ、滋賀県と連携し「後継プラン」を策定した。同プランは環境と新技術を柱に産業誘致と道路整備を進め、現在は基盤整備が完了。市は後継プランの完了に向け、事業の取りまとめ、成果、検証に取り組みと方針を示した。また、都市公園整備など残る土地の有効活用にも取り組む方針であると示している。

問

「まちづくり基本構想(後継プラン)」の成果は、

答

基盤整備として、道路約5300m、雨水幹線約2300mを整備し、企業誘致として、22haに15社の企業立地が実現。

問

新駅中止に伴い滋賀県との経済的損失や財政負担等の対応策の分析、検証は、当時、県と基本合意書を締結し財政負担をもらい実施。また、後継プランの実施に関する覚書を締結し支援とともに推進している。

問

まちづくり基本構想「後継プラン」の検証の進捗は、

答

社会資本整備計画等と照らしながら成果を整理中。

問

取りまとめ、検証での滋賀県との関わりは、

答

滋賀県と共同で検証を進行。

問

検証を進めるにあたり、市民への説明と意見聴収は、

答

関係自治会に報告を行い、市民の意向を踏まえた説明を実施。

問

後継プラン完了後の方針は、

答

都市公園整備など、市民が集える空間の創出と残る土地活用の支援に向け、引き続き県の支援を求める方針。

5月30日の第3回臨時会で

議長・副議長を選出

就任あいさつ



副議長

川嶋 恵



議長

里内 英幸

このたびの臨時会で議長並びに副議長の重責を担わせていただくこととなりました。改めてその使命と職責の重大さを痛感し、身の引き締まる思いです。

市民の代表として皆様の声を真摯に受け止め、議会の果たすべき二元代表制の役割を十分に認識し、よりよい栗東のために全議員が一丸となり全力で取り組んでまいります。

今後、市議会が円滑に運営され、市民の皆様にとって信頼される場であり続けられるよう、努めてまいります。一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

委員会活動レポート

生成AIで議会が変わる!?

4月14日、議会改革特別委員会DX推進部会の主催で、早稲田大学デモクラシー創造研修所 事務局次長の青木佑一さんを講師に迎え、「地方議会を変革する生成AI活用講座～地方議員がゼロから始めるChatGPT～」をテーマに研修を実施しました。

研修では、ChatGPTの基礎知識のほか、実際に議員がChatGPTを使って自身の質問原稿を改善する演習、自身の関心のテーマを生成AIと対話するなかでテーマ出しや原稿素案を考える演習を体験し、これからの議会活動に生成AIがどのように役立つかを実感する時間となりました。

参加した議員からは、「早速使ってみたい」といった前向きな声が聞かれ、今後の議会活動に生成AIを取り入れるヒントがたくさん見つかった研修となりました。これからも、議会ではデジタル技術を活用しながら、**わかりやすく・開かれた議会**を目指して取り組んでいきます。

議員研修会を開催

令和7年4月14日



講師の青木佑一さんによる講演の様子

編集後記

6月より議会広報編集特別委員会の委員長を務めることになりました寺田靖広です。

二元代表制の一翼を担う市議会の取り組みを、市民の皆様へ紹介していきます。これまでの議会だよりを継承しつつ、より伝わりやすく編集することに重点を置いていきます。努力を重ねます。(寺田)

議会広報編集特別委員会

(委員長) 寺田 靖広 (副委員長) 奥村 明
(委員) 西田 聡 / 伊吹 裕 / 塩見 隆 / 谷口 律香

ホームページで全ページがフルカラーの議会だより（PDF版）をお楽しみいただけます。



特集もPDF版はカラーに▶



●表紙写真

夏空と栗東市役所

